

第 13 回日本臨床腫瘍学会学術集会

セッション	頭頸部がん治療開発における新展開
企画について	頭頸部癌の治療開発は長らく停滞していた。しかし、最近免疫療法を含む様々な分子標的薬が開発されている。また、導入化学療法も新たなエビデンスが登場している。動注化学療法はこれまで retrospective な検討から前向き試験も開始されている。現在進行中の治療開発を把握することで、今後我々が新たなエビデンス確立を目指した臨床試験立案に大いに役立つと思われる。
司会 (予定)	本間 明宏 (北海道大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野) 他 1名